

# 施策評価シート

施策コード	3102	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	健康づくり、疾病予防の推進	所属名 福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす

## 2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○心と身体の健康は、豊かな人生を支える基本であり、健康で生きがいを持った心豊かな生活を送ることが出来る「健康寿命の延伸」が求められています。</p> <p>○がんや糖尿病など生活習慣病対策には、予防と早期発見・早期治療が重要です。そのためには、市民一人ひとりが、健康づくりや生活習慣病予防の必要性を認識するとともに、健診を受診するという行動につなげる取組みが必要です。</p> <p>○市民が身近な地域で、気軽に健康づくりに参加できるしくみづくりを進めることにより、健康への関心を高め、疾病予防・介護予防を推進する必要があります。</p> <p>○今後も、市民の主体的な健康維持・増進の取組みを支援するとともに、生活習慣病予防を目的とした、保健事業や健康相談体制の充実などが必要です。</p> <p>○自殺者数が全国平均と比べ高い状況にあり（10万人あたり自殺者数 鳥取県28.2人 全国平均23.9人 2011年鳥取県警統計）、心の健康づくりや相談体制の充実といった予防策に取組むことが必要です。</p>
めざす方向	市民が健康づくりや疾病予防、介護予防に自発的に取組める環境を整え、自らが健康を守り、いつまでもいきいきと元気に暮らせるまちをめざします。
達成するための対策・手段	<p>①健康づくりの推進</p> <p>②疾病予防の推進</p> <p>③特定健診、がん検診の推進</p> <p>④介護予防対策の推進</p> <p>⑤心の健康づくりの推進</p>

## 3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	胃・肺・大腸がん検診	%	目標	30	35	40	45	50
				実績	27.1	28.4	33.6	0	0
				目標達成率	90%	81%	84%		
		(指標の説明) 各検診等の受診率。(基準値は平成22年度の推計値、25年度より国のがん対策推進基本計画で示された算定基準による数値)							
	2	子宮・乳がん検診	%	目標	30	35	40	45	50
				実績	26.7	27.6	47.9	0	0
				目標達成率	89%	79%	120%		
		(指標の説明) 各検診等の受診率。(基準値は平成22年度の推計値、25年度より国のがん対策推進基本計画で示された算定基準による数値)							
	3	介護予防対象者の把握率	%	目標	65	67.5	70	72.5	75
				実績	78.2	73.1	66.4	0	0
目標達成率				120%	108%	95%			
(指標の説明) 65歳以上で要介護・要支援の認定を受けていない人を対象に、近い将来介護が必要な状態となるおそれがある高齢者の把握率。(把握率の向上は介護予防事業の効果的な実施につながります。)									

## 4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	15,682,948	16,495,420	17,443,812	0	0

## 5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>平成25年度は、鳥取市健康づくり計画に基づき継続的に実施しているがん検診、特定検診の受診向上、糖尿病の発症と重症化予防を重点として、運動、食習慣、喫煙対策等の生活習慣病対策を市民とともに取り組んだ。また、検診については、特に子宮頸がん検診の20・30歳代の受診率が向上した。また、がん検診の精密検査受診奨励を徹底したことにより、その受診率が向上した。介護予防事業については、二次予防事業対象者を把握することにより、介護予防教室等に参加奨励することができた。二次予防事業対象者 7,412人。なお、今後、制度的な見直しを図られており、国の示す実施要綱を注視しながら、見直しを図っていく。</p>
---	---

## 6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>少子高齢化が進行するなか、健康づくり、疾病予防の推進は重要である。平成25年4月1日に地域の健康づくり事業や生活習慣病予防・介護予防事業の充実を図るため「鳥取東健康福祉センター」を開設した。事業の推進や意識啓発は、医療機関や介護支援事業所、健康づくり地区推進員、食生活改善推進員など地域の団体等と連携を密にして、地域の実情に合った方法で実施することが必要である。また、推進のために人材育成と支援を行い地域ぐるみの健康づくり等を推進するための体制づくりをより一層進めていくことが重要である。</p>

## 7. 市民アンケートに対する方向性

市民アンケートに対する方向性	<p>【重要度:4位、満足度:1位、ニース度:13位】</p> <p>●重要度、満足度ともに高く、ニース度も平均に近いことから、現在の取り組みに対して一定の評価があると思われる。このため、現在の水準を維持するよう取り組む。</p>
----------------	---

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001043	重点事業区分	リープロ2	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民健康手帳導入事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
	施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率		78%	75%		
予算	予算事業名	市民健康手帳導入事業費		予算事業コード	01-04-01-01-26-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民（各種健診事業の対象者）
意図 (どのような状態にするために)	個人の健康管理を記録・保存し、健康への意識啓発や自己管理を促し、疾病予防へつなげる。
手段 (どうするのか)	健診初回となる年齢層や定年退職後で職場健診の機会がなくなる年齢層に対し配布し、継続した健康管理に役立てる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 導入に向けた検討	平成24年度 手帳の作成、配布	平成25年度 手帳の作成、配布 配布効果の検証	平成26年度 手帳の作成、配布 配布効果の検証	平成27年度 手帳の作成、配布 配布効果の検証	
	年度別実績	導入に向けた検討	手帳の作成、配布	手帳の作成、配布 配布効果の検証			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	3,173	6,659	0	4,559	
	直接経費 A	0	3,173	3,745	0	4,559	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	85	106	0	266
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	3,088	3,639	0	4,293
人件費 B	0	0	2,914	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		手帳の配布件数	冊	目標	0	4000	10000	10000	10000
	(指標の説明) 市民へ配布した手帳の件数		実績	0	8000	8000	0	0	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 連携係 0857-20-3914</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P83(健003)</p> <p>【事業の概要】 市民の健康を守るという、市長マニフェストとして新しい市民健康手帳の導入することとした。</p> <p>【事業の成果】 市民健康手帳を配布、活用を促すことで自己の健康管理を促し疾病予防へつなげる。</p> <p>≪事業の内容・実績≫ (内容) 市民健康手帳を作成し、配布する。 (実績) 平成22年度及び23年度 ・相談室・健康手帳部会にて手帳配布対象者、掲載内容等を検討した。 平成24年度 ・平成24年11月に8,000部作成した。配布内訳は 40歳、60歳到達の市民へ郵送 約5,600部 残りを窓口等で希望者へ配布 約2,400部 ・今後の手帳の更なる普及の参考に手帳の活用モニターを募集した。 平成25年度 ・平成25年8月に10,000部作成した。配布内訳は 40歳、60歳到達の市民へ郵送 約5,600部 人間ドック、特定保健指導時に配布 約800部 地域の教育、相談時に配布 約1,600部 その他 若干数</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き市民健康手帳の発行を継続し、更なる普及に努める。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	手帳の配布件数		200%	80%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民自身での疾病管理及び予防への関心を高めるため必要と考える。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民自身が自己の健康管理を手軽に実践するうえで必要である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市民自身で自己の健康についての意識を高めることにより、生活習慣病予防等につながり、医療費の軽減も期待できる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民自身での疾病管理及び予防への関心を高めるため必要と考える。将来的な医療費・保険料抑制につながる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	特定年齢到達者への送付は引き続き実施するが、人間ドックの申込時等に発行している随時分については、対象者が重複していくため段階的に作成数を縮減していく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000971	重点事業区分	リープロ2	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	健康づくり地区推進員活動事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり	事業期間	昭和58年度 ~ 全期	
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす	根拠法令、根拠計画等	健康増進法	
	施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%		ソフト(義務)
	子宮・乳がん検診		26%	50%	運営方法	直営
	介護予防対象者の把握率		78%	75%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	健康づくり地区推進員活動費		予算事業コード	01-04-01-02-08-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	健康づくり地区推進員 各町内に1人以上配置 約1000名
意図 (どのような状態にするために)	地域における健康づくり活動のリーダーとして、生活習慣病予防を始めとする健康づくり活動に行政と協働で取り組むことにより、市民の健康づくりを推進する。
手段 (どうするのか)	1 健康づくり地区推進員を対象とする研修 2 健康づくり推進員による地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診受診の声かけなど)

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	1研修会 2地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診の声かけ)	1研修会 2地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診の声かけ)	1研修会 2地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診の声かけ)	1研修会 2地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診の声かけ)	1研修会 2地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診の声かけ)	
	年度別実績	1推進員研修会1,002人 2地区活動 研修会 31地区 ウォーキング大会 34地区 しゃんしゃん体操 39地区 健診の声かけ 42地区	1推進員研修会 770人 2地区活動 研修会 37地区 ウォーキング大会 39地区 しゃんしゃん体操 40地区 健診の声かけ 42地区	1推進員研修会 655人 2地区活動 研修会 38地区 ウォーキング大会 36地区 しゃんしゃん体操 35地区 健診の声かけ 41地区			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	15,753	15,698	15,361	0	4,635	
	直接経費 A	4,507	4,559	4,433	0	4,635	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,507	4,559	4,433	0	4,635
人件費 B	11,246	11,139	10,928	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	推進員研修会参加者数	人	目標	1050	1080	1080	1080	1080	
				実績	743	770	655	0	0	
	(指標の説明) 視察研修、ブロック別研修、合同研修、理事研修の参加者数									
	2	地区研修会実施地区数	地区	目標	38	40	40	40	40	
				実績	31	37	38	0	0	
	(指標の説明) 健康講演会、研修会を実施した地区数									
3	ウォーキング実施地区数	地区	目標	38	40	40	40	40		
			実績	34	39	36	0	0		
(指標の説明) ウォーキング実施地区数										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】当初予算</p> <p>【事業の概要】 高齢期になると要介護になる割合が高く、健康で長生きをする取組が必要となった。寝たきり予防のためには、行政だけでなく住民組織と協働で進めることがより効果的である。鳥取市では健康づくり地区推進員連絡協議会を組織してきた。</p> <p>【事業の成果】 健康づくり地区推進員は各町内に1人以上配置。集団検診の回覧・健康ウォーク・健康講演会等を実施し、地域の健康づくり活動のリーダーとして市民健康づくりを推進する。 平成23年度推進員数(全市)1,002人 決算額 4,506,824円 平成24年度推進員数(全市)991人 決算額 4,559,303円 平成25年度推進員数(全市)987人 決算額 4,432,564円</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市民健康づくり地区推進員連絡協議会と協働で、健康づくり活動が積極的に推進できるよう活動支援をしていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	推進員研修会参加者数	71%	71%	61%		
	2	地区研修会実施地区数	82%	82%	95%		
	3	ウォーキング実施地区数	89%	98%	90%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地区において市民の健康づくりを積極的に推進している
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	各地区の実情に応じて健康づくり事業の企画立案運営している
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地区、町区、集落単位で市民の健康づくりを積極的に推進している
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各地区自治会長推薦のもと、各町内推進員1人以上を市長が委嘱している

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取市民健康づくり地区推進員連絡協議会と協働で、地区、町区、集落という小単位で健康づくり活動が積極的に推進できるよう活動支援をしていく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000967	重点事業区分	リープロ2	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	健康ひろば事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	昭和58年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	健康増進法
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	健康ひろば事業費		予算事業コード	01-04-01-02-06-01	
		介護予防対象者の把握率		78%	75%	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市民一人ひとりが元気で楽しく暮らせるまちをめざして策定された「とっとり市民元気プラン2011」を推進するため、市民が主体的に取り組むきっかけづくりとなる
手段 (どうするのか)	1 講演会 2 各種健康相談 3 展示、団体の取り組み紹介

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	1講演会 2健康相談・・・血圧、体脂肪、血糖、足指力測定、医師・保健師、栄養士相談 3展示、団体の取り組み紹介・・・食生活改善推進員	1講演会 2健康相談・・・血圧、体脂肪、血糖、足指力測定、医師・保健師、栄養士相談 3展示、団体の取り組み紹介・・・食生活改善推進員	1講演会 2健康相談・・・血圧、体脂肪、血糖、足指力測定、医師・保健師、栄養士相談 3展示、団体の取り組み紹介・・・食生活改善推進員	1講演会 2健康相談・・・血圧、体脂肪、血糖、足指力測定、医師・保健師、栄養士相談 3展示、団体の取り組み紹介・・・食生活改善推進員	1講演会 2健康相談・・・血圧、体脂肪、血糖、足指力測定、医師・保健師、栄養士相談 3展示、団体の取り組み紹介・・・食生活改善推進員	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,673	3,476	3,390	0	1,250	
	直接経費 A	1,424	1,248	1,204	0	1,250	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,424	1,248	1,204	0	1,250		
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	アンケート結果のうち満足度項目が「とても満足」、「まあ満足した」と回答した者	単位	%	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績	0	0	70	75	80						
	(指標の説明) 参加者へのアンケート調査を実施し、各種事業に対する総合的に満足した回答者数の割合												
	2	目標	0	0	0	0	0						
		実績	0	0	0	0	0						
	(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0							
	実績	0	0	0	0	0							
(指標の説明)													

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 予防係 0857-20-3191
	【9次総の施策体系】 3102
	【予算計上の経過】 当初予算・P96 (健029)
	【事業の概要】 市民一人ひとりが生涯を通じて、その人らしく健康で豊かな人生を送ることを目指して策定された「とっとり市民元気プラン2011」を推進するため、市民一人ひとりが健康づくりの意識と意欲を高め、主体的に取り組むきっかけづくりを目的とした健康づくり講演会等を実施する。 (1) 歯科講演会 (2) 健康づくり講演会 (3) しゃんしゃん体操実演 (4) 健康相談コーナーの設置 内科相談・血圧自己測定・栄養相談・簡易血糖検査等 (5) 展示・地元特産物の販売、等
	【事業の成果】 平成23年度来場者 約900名 決算額 1,423,872円 平成24年度来場者 約350名 決算額 1,247,784円 平成24年度来場者 約600名 決算額 1,204,461円
【今後の課題・方向性】 社会状況やアンケートによる市民の要望を考慮して内容を毎回見直し、継続して実施する。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	アンケート結果のうち満足度項目が「とても満足」、「まあ満足した」と回答した者			107%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	「とっとり市民元気プラン2011」の推進に役立っている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民の健康づくりの意識と意欲向上を図っている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	この事業の直接的な費用対効果を判断する基準を示すことが難しいが、アンケートでは75%の方が満足していると答えている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	公正・公平の観点からあらゆる広報媒体を通して、広く一般市民に呼びかけている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	健康ひろば事業は、本年度第30回の開催となり、アンケート結果など市民ニーズをとらえながら改善し、健康づくりの市民への啓発活動等一定の成果を上げてきた。今後、関係団体の活動の場として活用するなど事業の在り方を検討しながら継続する必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000968	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	食育推進事業(食生活改善事業)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	健康増進法 食育基本法
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率		78%	75%		
予算	予算事業名	食生活改善事業費			予算事業コード	01-04-01-02-07-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	増加する生活習慣病を予防するために、最も重要である食生活の改善を広く普及するため、食生活改善推進員を養成し、伝達講習会を通して市民の健康づくりにつなげる。
手段 (どうするのか)	食生活改善推進員の養成および育成と食生活改善推進員による地区伝達講習会を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		食生活改善推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	食生活改善推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	食生活改善推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	食生活改善推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	食生活改善推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,676	12,682	11,815	0	3,680	
	直接経費 A	3,680	3,771	3,073	0	3,680	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,680	3,771	3,073	0	3,680	
人件費 B	8,996	8,911	8,742	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.20	1.20	1.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	伝達講習会開催数	回	目標	400	400	400	400	400
				実績	412	377	320	0
(指標の説明) 伝達講習会の回数								
2	食生活改善推進員養成講座受講者数	人	目標	50	40	40	40	40
				実績	28	38	21	0
(指標の説明) 食生活改善推進員養成講座の受講人数								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】食育推進係 0857-20-3192			
	【9次総の施策体系】3102			
	【予算計上の経過】 当初予算・P96(健030)			
	【事業の概要】 生活習慣病予防のための知識を習得し、家族、地域の食生活改善、健康づくりの実践を推進するため、平成9年度より食生活改善推進員養成講座を実施。 養成講座修了生で組織される鳥取市食生活改善推進員連絡協議会に、地域における食生活改善地区活動事業を委託し、生活習慣病の予防を啓発。			
	【事業の成果】 増加する生活習慣病予防に最も重要である食生活の改善を広く普及し、生活習慣病予防、健康づくりの推進につなげた。			
		平成23年度	平成24年度	平成25年度
・地区伝達講習会		412回	377回	320回
・決算額		3,680,304円	3,770,993円	3,072,817円
【今後の課題・方向性】 「食」に関する情報が多い中、食生活改善推進員の養成と地区活動を通して、確かな知識の普及に継続して取り組んでいくとともに、推進員が市の健康課題を最優先にした活動を円滑に実施できるよう支援していく。				

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	伝達講習会開催数	103%	94%	80%		
	2	食生活改善推進員養成講座受講者数	56%	56%	53%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市の健康問題に合ったテーマを設定し、伝達講習会を実施することで、食生活改善を広く普及し、疾病予防につなげている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民に身近な会場において伝達講習会を実施し、食生活改善を推進することで成果をあげることができる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市栄養士が食生活改善推進員に伝達講習会のための研修を実施し、各推進員がそれぞれの地区住民に伝達する効率的な手法をとっている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	伝達講習会の他、レシピを広報誌、ケーブルテレビなどで周知することにより多くの市民にも関心をもっていただく取り組みをしている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	「食」の多様化に伴い、生活習慣病の増加や「食」に関する情報が多い中、食生活改善推進員の養成を行い、確かな知識の普及につなげる。また市の健康課題を最優先にした推進員の活動が円滑に実施できるよう積極的に支援をし、推進員が継続して啓発に取り組むことで疾病予防につなげる。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000970	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	食育推進事業(母子栄養改善事業)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	食育基本法 地域保健法 母子保健法
	施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率		78%	75%		
予算	予算事業名	母子栄養改善事業費		予算事業コード	01-04-01-02-07-03	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	乳幼児期から思春期までの子及びその保護者
意図 (どのような状態にするために)	生涯健康でありつづける為に必要な知識や技術を習得し、幼児期からの健康的な食生活を身につけ、生活習慣病を予防する。
手段 (どうするのか)	講話及び調理実習、参加型体験学習

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 食育教室 63回	平成24年度 食育教室 63回	平成25年度 食育教室 63回	平成26年度 食育教室	平成27年度 食育教室	
	年度別実績	食育教室 77回	食育教室 67回	食育教室 46回			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	13,012	8,418	12,630	0	1,029	
	直接経費 A	1,017	992	974	0	1,029	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,017	992	974	0	1,029
人件費 B	11,995	7,426	11,656	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.60	1.00	1.60	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.60	1.20	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		食育教室参加者数	人	目標	2000	2050	2050	1650	1650	
			実績	1980	1591	1200	0	0		
	(指標の説明) 食育教室の参加者の人数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 食育推進係 0857-20-3192</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P97 (健032)</p> <p>【事業の概要】 乳幼児期の食のあり方は、生涯を通じた健康的な食習慣を定着させる大切な時期であるが、育児不安の要因の一つにもなっている。そのため、従来より実施している「離乳食講習会」に加え、平成18年度より幼児期を対象とした「食育教室」を実施している。</p> <p>【事業の成果】 乳幼児期より日本的な食文化や食材に触れる機会を増やすことで、規則正しい食習慣が身につく、健やかな心と体の成長、保護者の不安軽減につながっている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成23年度</th> <th style="text-align: center;">平成24年度</th> <th style="text-align: center;">平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・離乳食講習会</td> <td style="text-align: center;">48回</td> <td style="text-align: center;">48回</td> <td style="text-align: center;">39回</td> </tr> <tr> <td>・食育教室</td> <td style="text-align: center;">79回</td> <td style="text-align: center;">67回</td> <td style="text-align: center;">46回</td> </tr> <tr> <td>・決算額</td> <td style="text-align: right;">1,017,263円</td> <td style="text-align: right;">991,850円</td> <td style="text-align: right;">975,188円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 生涯の健康維持には、乳幼児期からの健康的な食習慣の定着が必要である。引き続き、健全な食生活が実践できるよう対象者に合わせた支援をしていく。</p>		平成23年度	平成24年度	平成25年度	・離乳食講習会	48回	48回	39回	・食育教室	79回	67回	46回	・決算額	1,017,263円	991,850円	975,188円
		平成23年度	平成24年度	平成25年度													
・離乳食講習会	48回	48回	39回														
・食育教室	79回	67回	46回														
・決算額	1,017,263円	991,850円	975,188円														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	食育教室参加者数	99%	78%	59%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生活習慣病を予防し、生涯健康であり続けるための知識や技術習得のためには、乳幼児期からの規則正しい食習慣定着が必要である。
<p>事業の有効性</p> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	乳幼児健診などで把握した各地域の実態に応じて、地域の関係機関と連携を取りながら実施することにより、対象者に合わせた支援が行える。
<p>資源投入の効率性</p> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域の連携機関と連携を取ることで、事前に対象者が把握でき、事前準備もスムーズに行えている。
<p>サービスの公平性</p> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	偏りがなく全市で幅広く実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント</p>	<small>実習や講話を通して、乳幼児期からの食生活の大切さを伝えることにより、生涯を通じた健康的な食生活の定着に寄与していると考え、育児サークル、幼稚園、小学校保護者会など対象者に合わせた支援をしていく必要がある。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000966	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	健康教育・健康相談・訪問指導事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	昭和58年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	健康増進法
	施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率		78%	75%		
予算	予算事業名	健康教育・健康相談・訪問指導事業費			予算事業コード	01-04-01-02-05-09

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	原則として、鳥取市に居住地を有する40歳から64歳までの者。
意図 (どのような状態にするために)	がんや糖尿病などの生活習慣病の発症と重症化を予防し、市民の健康寿命の延伸を図る。
手段 (どうするのか)	がんや生活習慣病についての正しい知識の普及啓発及びがん検診や健康診査の受診につながる意識啓発。 健診結果に基づく相談体制、保健指導の充実。 糖尿病等生活習慣病の発症及び重症化予防のため重点的な取り組みを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少	1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少	1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少	1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少	1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少	1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少
年度別実績	1健康教育実施回数: 308回 2健康相談件数(延べ): 4,300件 3訪問指導件数(延べ): 410件	1健康教育実施回数: 300回 2健康相談件数(延べ): 2,275件 3訪問指導件数(延べ): 517件	1健康教育実施回数: 310件 2健康相談件数(延べ): 5,377件 3訪問指導件数(延べ): 564件				
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	18,910	19,383	24,516	0	8,920	
	直接経費 A	7,664	8,244	13,588	0	8,920	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,100	1,074	1,074	0	1,074
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,564	7,170	12,514	0	7,846		
人件費 B	11,246	11,139	10,928	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	1.70	0.00	1.50	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				1	生活習慣病予防訪問指導延件数	人	目標 実績	0 0	0 0
(指標の説明) 生活習慣改善するために健康教室を実施									
2	健康教育実施回数	回	目標 実績	380 308	380 300	320 310	320 0	320 0	
(指標の説明) 正しい知識を習得し、生活習慣改善が実施できるための教育回数									
3	健康相談件数(延べ)	件	目標 実績	12000 4300	12000 2275	2500 5377	2500 0	2500 0	
(指標の説明) 心身の健康に関すること、健診結果に基づく保健指導等についての相談件数									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】当初予算</p> <p>【事業の概要】 糖尿病等の生活習慣病は自覚症状がなく進行し、現在の我が国における死亡や要介護状態となること等の主な原因の一つにもなっている。市でも同様であり、その対策が急務である。第2期特定健康診査等実施計画には特定保健指導以外の保健指導の実施も明記されている。それに基づき、より適切かつ効果的に保健指導を実施することが必要である。</p> <p>【事業の成果】 ①保健指導を実施した人は、保健指導を受けていない人に比べ「生活習慣改善に取り組んでいる」人の割合が有意に高い。 ②保健指導を受けた人の9割が保健指導を評価しており、保健指導が市民の健康維持へのモチベーションに大きく寄与している。 平成23年度 健康教育308回、健康相談298回、訪問指導410人 決算額 7,664,012円 平成24年度 健康教育300回、健康相談262回、訪問指導517人 決算額 8,244,118円 平成25年度 健康教育310回、健康相談226回、訪問指導564人 決算額 13,587,628円</p> <p>【今後の課題・方向性】 ①今後も継続して健康教育、健康相談、訪問指導を実施し、適切な指導や支援を行うことにより、生活習慣病の予防及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援する。 ②効果的な保健指導のために、医師会、医療機関との連携の強化を図る。 ③医療費削減の効果は、今後数年追跡して効果をみる。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 生活習慣病予防訪問指導延件数			71%		
	2 健康教育実施回数	81%	81%	97%		
	3 健康相談件数(延べ)	36%	19%	215%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	健康増進法に基づき、市民の健康づくりに寄与している。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	健康教育・健康相談・訪問指導を実施することにより、自分に合ったよい生活習慣を確立できた人、受診行動につながった人があり、健康意識の向上につながっている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	生活習慣病予防のための健康意識の改善・行動変容について、必要な対象者に専門職が継続支援していくことが、市民全体の健康水準の向上につながる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	保健指導が必要な対象者と相談希望のある人には相談できる体制を整えている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	継続して健康教育、健康相談、訪問指導を実施し、適切な指導や支援を行うことにより、生活習慣病の予防及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援する。また、より、効果的な保健指導のために、医師会、医療機関との連携の強化を図る。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000981	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	各種予防接種事業(一類疾病予防接種)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	予防接種法
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	一類疾病予防接種費		予算事業コード	01-04-01-04-01-07	
		介護予防対象者の把握率		78%	75%	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	BCG(12か月未満児)/ポリオ(3か月～7歳5か月)/三種混合【DPT】(3か月～7歳5か月)/四種混合(3か月～7歳5か月)/二種混合【DT】(1歳～12歳)/麻しん風しん混合【MR】(1歳児、幼保年長)/日本脳炎(6か月～19歳)/ヒブ(2か月～4歳)/小児用肺炎球菌(2か月～4歳)/子宮頸がん(小6～高1)/
意図 (どのような状態にするために)	乳幼児、学童、生徒等に対し各種予防接種を行い疾病予防を図る。
手段 (どうするのか)	BCG～保健センターにおける集団接種 BCG以外～医療機関における個別接種

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 6種類の予防接種を各年齢に応じ必要な接種を行う	平成24年度 6種類の予防接種を各年齢に応じ必要な接種を行う	平成25年度 10種類の予防接種を各年齢に応じ必要な接種を行う	平成26年度 11種類の予防接種を各年齢に応じ必要な接種を行う	平成27年度 11種類の予防接種を各年齢に応じ必要な接種を行う	
	年度別実績	BCG1,799件、ポリオ2,999件、DPT7,036件、DT1,485件、MR1期1,598件、MR2期1,671件、MR3期1,633件、MR4期2,220件、日脳9,295件	BCG1,666件、ポリオ5,523件、DPT5,801件、DT1,487件、四種1,195件、MR1期1,784件、MR2期1,683件、MR3期1,694件、MR4期1,431件、日脳8,287件	BCG1,293件、ポリオ1,876件、DPT1,785件、DT1,218件、四種5,216件、MR1期1,691件、MR2期1,693件、日脳6,483件、ヒブ7,181件、小児肺炎6,853件他			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	244,695	283,868	378,581	0	469,735	
	直接経費 A	238,697	277,927	372,753	0	469,735	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	238,697	277,927	372,753	0	469,735		
人件費 B	5,998	5,941	5,828	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 3期4期の接種率(封じ込め作戦)									
	2	麻疹、風疹予防接種(2期)の接種率	%	目標	95	95	95	95	95	
				実績	94	94.4	94	0	0	
(指標の説明) 2期の接種率(封じ込め作戦)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857 - 20 - 3191</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P105 (健048) ・P106 (健050) ・P107 (健051、健052) 2月補正</p> <p>【事業の概要】</p> <p>予防接種法第2条第2項 (一類疾病の指定)、第3条第1項 (定期予防接種の実施)、予防接種法施行令第1条第2項 (定期予防接種を行う疾病及び対象者) に基づき、集団接種及び個別接種として実施。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として実施。</p> <p>23年度実績：BCG1,799件、ポリオ2,999件、三種混合7,036件、二種混合1,485件、MR1期1,598件、2期1,671件、日本脳炎9,295件 (決算額 238,697,453円)</p> <p>24年度実績：BCG1,666件、生ポリオ4,666件、三種混合5,801件、二種混合1,487件、四種混合1,195件、MR1期1,784件、2期1,683件、日本脳炎8,287件 (決算額 277,926,996円)</p> <p>25年度実績：BCG1,293件、不活化ポリオ1,876件、三種混合1,785件、二種混合1,218件、四種混合5,216件、MR1期1,691件、MR2期1,693件、日本脳炎6,483件、ヒブワクチン7,181件、小児用肺炎球菌ワクチン6,853件、子宮頸がん予防ワクチン946件 (決算額 372,753,016円)</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>平成25年度より、ヒブワクチン他2ワクチンの接種が予防接種法のA類疾病に位置づけられた。今後もA類疾病に位置づけられる見込みのワクチンが複数ある。制度改正に速やかに対応し、事業を適切に実施していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1						
	2	麻疹、風疹予防接種(2期)の接種率	99%	99%	99%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	予防接種法に基づき、市が実施すべき事業である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	予防接種により、子どもたちに感染症がまん延するのを防ぐことができている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	予防接種法に基づき実施している。子供たちに感染症がまん延するのを防ぐことができている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての予防接種法に定める対象者に、公平に接種機会を設けている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>・就学時確診での接種状況調査 ・予防接種週間での保育園、幼稚園を通じた文書配布 ・未接種者に対し電話、郵便での個別勧奨 を行いMR II期の接種率向上に努める。 また、平成26年10月頃に水痘予防接種がA類疾病に位置づけられる予定である。制度改正が行われた場合には速やかに対応し、事業を適切に実施していく。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000982	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	各種予防接種事業(二類疾病予防接種)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	予防接種法及び予防接種法施行令
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	二類疾病予防接種費		予算事業コード	01-04-01-04-01-08	
		介護予防対象者の把握率		78%	75%	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	インフルエンザ予防接種 ①65歳以上の方②60～64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器等に一定の障害(1級)を有する人及び免疫機能が抑制される人③重症心身障がい者及び重症心身障がい児
意図 (どのような状態にするために)	インフルエンザによる高齢者の重症化、感染の拡大の防止をはかる
手段 (どうするのか)	接種希望に応じ医療機関において個別接種

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 インフルエンザワクチンの接種費用助成を行い、インフルエンザによる市民の重症化、感染の拡大を防ぐ。 接種対象者45,512人	平成24年度 インフルエンザワクチンの接種費用助成を行い、インフルエンザによる市民の重症化、感染の拡大を防ぐ。 接種対象者46,190人	平成25年度 インフルエンザワクチンの接種費用助成を行い、インフルエンザによる市民の重症化、感染の拡大を防ぐ。 高齢者:対象者48,701人 重症心身障がい者・児:対象者202人	平成26年度 インフルエンザワクチンの接種費用助成を行い、インフルエンザによる市民の重症化、感染の拡大を防ぐ。 高齢者:対象者48,961人 重症心身障がい者・児:対象者194人	平成27年度 インフルエンザワクチンの接種費用助成を行い、インフルエンザによる市民の重症化、感染の拡大を防ぐ。 高齢者:対象者49,518人 重症心身障がい者・児:対象者194人	
	年度別実績	【65歳以上】 ※60～64歳で一定の障がいを持つ方含む。 非課税・生保世帯 10,362人 課税世帯20,810人	【65歳以上】 ※60～64歳で一定の障がいを持つ方含む。 非課税・生保世帯 10,645人 課税世帯20,631人	【65歳以上】 ※60～64歳で一定の障がいを持つ方含む。 非課税・生保世帯 11,167人 課税世帯21,304人 【重症心身障がい者・児】非課税・生保世帯 56人 課税世帯98人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	108,696	99,759	101,446	0	105,476	
	直接経費 A	104,198	95,303	97,075	0	105,476	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	58	0	0	0	0
一般財源		104,140	95,303	97,075	0	105,476	
人件費 B	4,498	4,456	4,371	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	65歳以上接種率	%	目標	70	70	70	70	70
		実績	68.5	67.7	66.7	0	0		
	(指標の説明) 対象者数における接種者数の割合								
2	60～64歳で一定の障がいを持つ対象者接種率	%	目標	0	0	70	70	70	
	実績	0	0	71.8	0	0			
(指標の説明) 対象者数における接種者数の割合									
3	重症心身障がい者及び重症心身障がい児接種率	%	目標	0	0	70	70	70	
	実績	0	0	88.1	0	0			
(指標の説明) 対象者数における接種者数の割合									



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P106 (健049)</p> <p>【事業の概要】 平成13年の予防接種法の改正により、インフルエンザは二類疾病に分類され、定期の予防接種を行うこととなった(平成25年度からB類疾病に名称変更)。予防接種法及び予防接種法施行令に基づき実施。 25年度から新たに任意接種である重度の心身障がい者及び重症心身障がい児の接種についても費用助成を実施。</p> <p>【事業の成果】 対象者①満65歳以上の人 ②満60歳以上65歳未満の人のうち、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する人及び人免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する人 ③重度の心身障がい者及び重症心身障がい児(25年度より) 委託先 鳥取県東部医師会会員が開設・管理する医療機関等 実績 平成23年度 31,150人(接種率68.3%) 決算額 104,198,395円 平成24年度 31,276人(接種率67.9%) 決算額 95,302,681円 平成25年度 32,625人(接種率66.7%) 決算額 97,075,338円</p> <p>【今後の課題・方向性】 インフルエンザによる重症化を防止するために、継続して実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	65歳以上接種率	98%	97%	95%		
	2	60～64歳で一定の障がい有する対象者接種率			103%		
	3	重症心身障がい者及び重症心身障がい児接種率			126%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	インフルエンザによる重症化、感染の拡大の防止を図ることは市民の健康管理のため必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	インフルエンザによる健康被害を防ぐためには予防接種が有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	対象者に接種券を発行するとともに、医療機関へ予防接種を委託しており効率的に事業を実施している。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	インフルエンザによる重症化を防ぐ観点から対象者を絞るとともに、市民税の課税状況に応じて予防接種費用の助成額を定めている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント インフルエンザによる重症化を防止するために、継続して実施する。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000962	重点事業区分	リープロ2	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	健康診査事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	昭和58年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	昭和58年～老人保健法 平成16年～健康増進法 平成19年～がん対策基本法
	施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率		78%	75%		
予算	予算事業名	健康診査費	予算事業コード	01-04-01-02-05-01		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各種健診の対象となる市民
意図 (どのような状態にするために)	対象者が、健康づくりや生活習慣病予防の必要性を認識し、健康の保持増進、疾病の早期発見のために必要な健診を受ける
手段 (どうするのか)	健康づくりに関する啓発に努めるとともに、市民が受診しやすい健診実施体制の整備及び健診等に関する相談体制の充実を図る

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 大腸がん無料クーポン券事業の拡充(節目) 休日検診の拡充 がん検診精密検査受診率向上対策の充実 子宮・乳がん無料クーポン事業の継続 未受診者対策の実施	平成24年度 受診期間の拡大 休日検診機会の拡充、未受診者対策、がん検診無料クーポン券事業等継続	平成25年度 がん検診無料クーポン券配布事業継続 30代節目年齢女性のHPV・子宮頸がん健診事業の導入 節目対象者への受診勧奨再通知 休日検診の実施	平成26年度 特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 30代節目年齢女性のHPV・子宮頸がん検診継続 未受診者への受診勧奨再通知 休日検診の拡充	平成27年度 特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 30代節目年齢女性のHPV・子宮頸がん検診継続 未受診者へのコールリコール 休日検診の拡充	
	年度別実績	大腸がん無料クーポン券事業の拡充(節目) 休日検診の拡充 がん検診精密検査受診率向上対策の充実 子宮・乳がん無料クーポン事業の継続 未受診者対策の実施	休日検診機会の拡充、未受診者対策、がん検診無料クーポン券事業等継続 がん検診未受診者へのコールリコール(50代60代の節目年齢) がん検診精密検査未受診者への個別受診勧奨(継続)	がん検診無料クーポン券配布事業継続 30代節目年齢女性のHPV・子宮頸がん健診事業の導入 節目対象者への受診勧奨再通知 休日検診の実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	358,113	390,505	400,434	0	602,657	
	直接経費 A	339,370	368,019	380,531	0	602,657	
	直接経費の財源内訳	国・県	18,792	19,130	19,215	0	16,953
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	34,600	38,241	42,531	0	24,637
	一般財源	285,978	310,648	318,785	0	561,067	
人件費 B	18,743	22,486	19,903	0	0		
職員数の内訳	正規職員	2.50	2.50	2.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	胃・肺・大腸がん検診受診率(40～69歳)	%	目標	30	35	40	45	50	
		実績	27.1	28.4	33.6	0	0			
	(指標の説明) 25年度より国のがん対策推進基本計画(H24)で示された受診率算定基準(対象者69歳以下)									
	2	子宮・乳がん検診受診率(子宮:20～69歳、乳:40～69歳)	%	目標	30	35	40	45	50	
		実績	26.7	27.6	47.9	0	0			
	(指標の説明) 25年度より国のがん対策推進基本計画(H24)で示された受診率算定基準(対象者69歳以下)									
3	がん検診精密検査受診率	%	目標	85	86.5	88	89	90		
	実績	85.8	87	88	0	0				
(指標の説明) 精密検査の対象者で検査を受けた人の割合										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 総合健診係 0857-20-0320</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P84(健005)</p> <p>【事業の概要】 健康増進法に基づき各種健康診査を実施し、健康意識の高揚、生活習慣改善・疾病の早期発見・早期治療を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 休日検診の実施や、無料クーポン券事業、未受診者に対する電話勧奨、特定年齢へに対する再勧奨、CATVやラジオでの広報等により、受診率は向上した。</li> <li>2 特に、特定年齢の対象者にHPV検査を追加して実施した子宮頸がん検診については、好発年齢である20代30代の受診率(2年に1回の受診)が向上した。</li> <li>3 がん検診の精密検査受診勧奨の徹底により、精密検査受診率が向上した。</li> </ol> <p>【今後の課題・方向性】 国及び県は第2期がん対策推進計画を策定し、市町村とともにがん対策のより一層の推進を図ることとしている。本市においても「がんの早期発見」に向けたさらなる取り組みを強化する。特に、働く世代のがんの罹患は社会に与える影響が大きいことから、平成26年度新たに、特定年齢対象者に対して、全てのがん検診が無料となるがん検診無料クーポン券を配布し、働く世代のがん検診受診率向上を目指す。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 胃・肺・大腸がん検診受診率(40～69歳)	90%	81%	84%		
	2 子宮・乳がん検診受診率(子宮:20～69歳、乳:40～69歳)	89%	89%	120%		
	3 がん検診精密検査受診率	101%	101%	100%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本事業は、健康増進法およびがん対策基本法に市の責務として定められている。また、国の目標値は、受診率50%(69歳以下)とされている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	健診事業の推進は、市民の健康保持に欠かせない重要な取り組みである。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	外部委託も取り入れ、市民が検診を受けやすい体制を整備している。また、健診による疾病の早期発見により、医療費削減効果も期待できる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	がん検診の対象者は、国のがん検診実施指針に定められている。受益者負担は原則健診費用の約2割と定め、他市と比較しても妥当である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	がん対策は、国をあげて取り組んでいるところであり、今後も受診率向上に努める必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002987	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	特定健康診査等事業		所属名	福祉保健部 保険年金課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	高齢者医療確保法、厚生労働省令第157号第1条
	施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	特別会計
	介護予防対象者の把握率		78%	75%		
予算	予算事業名	特定健康診査等事業費		予算事業コード	07-13-02-01-01-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	特定健康診査対象者
意図 (どのような状態にするために)	生活習慣病の改善及び重症化予防により健康増進を図る
手段 (どうするのか)	特定健診・特定保健指導の体制整備や啓発活動及び訪問指導活動により、受診率(利用率)の向上を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画			・自己負担金の軽減・節目年齢に対する無料クーポン券の配布(継続)・休日検診の拡充 ・未受診者(節目年齢)に対する受診勧奨の徹底・キャンペーン等による啓発活動・保健師、看護師による訪問指導による受診(利用)	・健診料金の無料化 ・コールセンターによる未受診者受診勧奨 ・啓発活動の強化 ・集団検診の拡充 ・看護師の訪問による受診及び利用勧奨 ・保健師等の訪問による特定保健指導の充実	・健診料金の無料化 ・コールセンターによる未受診者受診勧奨 ・啓発活動の強化 ・集団検診の拡充 ・看護師の訪問による受診及び利用勧奨 ・保健師等の訪問による特定保健指導の充実	
	年度別実績			・自己負担金の軽減 ・40歳及び節目年齢への無料クーポン券配布 ・休日健診の拡充 ・コールセンターによる受診勧奨事業 ・看護師による訪問受診及び利用勧奨 ・特定保健指導の夜間実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	60,701	0	60,000	
	直接経費 A	0	0	42,488	0	60,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	29,016	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	13,472	0	60,000
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	18,213	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	2.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	特定健康診査の受診率	%	目標	57	65	30	37.5	45	
				実績	23.8	26.1	27.8	0	0	
	(指標の説明) 国民健康保険被保険者の特定健康診査対象者のうち健診を受診した者の割合(平成25年度から第2期計画)									
	2	特定保健指導の利用率	%	目標	39	45	28	36	44	
実績				22.3	26.7	30.8	0	0		
(指標の説明) 特定健診受診後、特定保健指導対象者のうち指導を利用した者の割合(平成25年度から第2期計画)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保健医療福祉連携課総合健診係 0857-20-0320</p> <p>【9次総の施策体系】 3102-02</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算P355(国009)</p> <p>【事業の概要】 医療制度改革に伴い、国保被保険者(40~74歳)を対象に、生活習慣病に着目した特定健診・特定保健指導を実施し、医療費の適正化を総合的に推進する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>コールセンターを活用した未受診者への受診勧奨、無料クーポン対象者の拡大(40歳を新たに追加)、休日検診の拡充、CATV等の広報、キャンペーンでの啓発活動などの取り組みにより、受診者が増加、受診率も向上した。(26.1%→27.8%)</li> <li>特定保健指導についても、未利用者への訪問や夜間電話での利用勧奨により、平成23年度利用率22.3%から、24年度利用率26.7%と4.4ポイント向上した。</li> <li>平成20年度特定保健指導実施分について、医療費等を分析評価して検証したところ、特定保健指導の実施による医療費削減効果が認められた。</li> </ol> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市国保加入者の生活習慣病の発症及び重症化を抑制することにより、これらに係る医療費の増大を抑えることは、喫緊の課題である。平成26年度から、特定健診を無料化して、特定保健指導対象者の掘り起こしに努めるとともに、訪問による指導体制の強化等により特定保健指導利用率のさらなる向上を図り、生活習慣病予防の取り組みを強力に推進していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	特定健康診査の受診率	42%	40%	93%		
	2	特定保健指導の利用率	57%	57%	110%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本事業は、高齢者医療確保法に保険者の責務として義務付けられている。国の定めた最終目標が高いため、実現に向けての取組強化が必要。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	健康づくりを推進し、医療費の適正化を総合的にすすめる事業である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	特定健診・保健指導ともに外部委託を取り入れ、平日受けにくい人への休日健診、保健指導の夜間実施や訪問指導等、対象者の利便性の向上に努めている。事業実施による効果を分析した結果、特定保健指導による医療費削減効果が認められた。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象は国で定められているものである。受診することによる医療費削減効果が明らかであることから、受益者負担を軽減して受診率向上に取り組む。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	高齢者医療確保法により定められたもので、医療費適正化に結びつく事業である。今後もさらなる受診率向上に努め、特定保健指導対象者に対する生活習慣病予防の取り組みを強力に推進する必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001005	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	二次予防事業対象者把握事業		所属名	福祉保健部 高齢社会課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	介護保険法、地域支援事業実施要綱
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	
	介護予防対象者の把握率		78%	75%		
予算	予算事業名	二次予防事業対象者把握事業費			予算事業コード	15-09-01-01-01-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	要介護者及び要支援者を除く介護保険第1号被保険者
意図 (どのような状態にするために)	要介護状態等となるおそれの高い状態にあると認められる65歳以上の高齢者の方を早期に発見し、介護予防事業等参加勧奨等に繋げる。
手段 (どうするのか)	要介護者及び要支援者を除く介護保険第1号被保険者に対し、日常生活で必要となる機能の確認のため基本チェックリストを送付し、回答を返送していただく。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 基本チェックリスト回収率65.0%	平成24年度 基本チェックリスト回収率67.5%	平成25年度 基本チェックリスト回収率70.0%	平成26年度 基本チェックリスト回収率70.0%	平成27年度 基本チェックリスト回収率70.0%	
	年度別実績	基本チェックリスト回収率78.2% 発送者数35,815人 有効回答数28,004人 23年度は、ニーズ調査も実施している。	基本チェックリスト回収率74.8% 発送者数35,835人 有効回答数26,176人	基本チェックリスト回収率66.4% 発送者数37,135人 有効回答数24,641人 25年度は、高齢者実態調査(ニーズ調査)も実施している。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	28,316	25,774	15,360	0	38,241	
	直接経費 A	25,317	22,804	12,446	0	38,241	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	14,340
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	19,119
	一般財源	25,317	22,804	12,446	0	4,782	
人件費 B	2,999	2,970	2,914	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		回答率	%	目標	65	67.5	70	70	70
	(指標の説明) 基本チェックリスト回収率	実績	78.2	74.8	66.4	0	0		
2		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		
3		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 高齢者福祉係 0857-20-3453</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P366 (介003)</p> <p>【事業の概要】 平成22年度の地域支援事業実施要綱の改正に伴い、要介護・要支援者を除く介護保険第1号被保険者全員に対し、基本チェックリスト等を実施し、要介護状態等となる恐れが高い高齢者を把握する。該当者が、要介護状態等に陥ることなく健康的な生活を在宅で送ることができるよう支援するため、おたっしや教室への参加勧奨を行う。</p> <p>【事業の成果】 二次予防事業対象者を把握することにより、介護予防教室等に参加奨励することができた。二次予防事業対象者 7,412人</p> <p>【今後の課題・方向性】 制度的な見直しが図られており、費用対効果を考慮し、全数配布によらない調査方法による実施を検討する。今後、国の示す実施要綱を注視しながら、見直しを図っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	回答率	120%	111%	95%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	介護予防につながる事業で、目的は妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	運動機能や生活力など心身機能の低下を認識し、日頃の介護予防につながっている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	さらに高い費用対効果が得られるような実施方法等を検討する必要がある。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	介護認定のない65歳以上の市民を対象にしており、公平に事業実施がおこなわれている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	国の示す実施要綱を注視しながら見直しを図っていく。		
担当課長の評価コメント			

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001008	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	介護予防普及啓発事業		所属名	福祉保健部 高齢社会課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	介護保険法
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	
	介護予防対象者の把握率		78%	75%		
予算	予算事業名	介護予防普及啓発事業費		予算事業コード	15-09-01-02-01-02	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者
意図 (どのような状態にするために)	高齢者が住みなれた地域で自立した生活を行うため。
手段 (どうするのか)	健康教育の実施やパンフレット等を配布し、介護予防に関する知識や重要性について普及啓発を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別計画		健康教育の実施パンフレットの配布	健康教育の実施パンフレットの配布	健康教育の実施パンフレットの配布	健康教育の実施パンフレットの配布	健康教育の実施パンフレットの配布
年度別実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域啓発活動(健康教育)の実施 延べ135回 3,162人</li> <li>介護予防啓発パンフレット</li> <li>介護保険ガイドブック</li> <li>認知症啓発パンフレット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域啓発活動(健康教育)の実施 延べ160回 1,467人</li> <li>介護予防啓発パンフレット</li> <li>介護保険ガイドブック</li> <li>認知症啓発パンフレット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域啓発活動(健康教育)の実施 延べ79回 1,553人</li> <li>介護予防啓発パンフレット</li> <li>介護保険ガイドブック</li> <li>認知症啓発パンフレット</li> </ul>			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,526	2,394	2,329	0	166	
	直接経費 A	277	166	143	0	166	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	61
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	82
	一般財源	277	166	143	0	23	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	実施回数	回	目標	100	100	100	100	100
				実績	135	160	79	0
(指標の説明) 健康教育を実施した回数								
2	受講者数	人	目標	1650	1900	2000	2000	2000
				実績	3162	1467	1553	0
(指標の説明) 健康教育を受講した人								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取中央地域包括支援センター 0857-20-3456</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【事業の概要】 平成18年介護保険法改正により、地域支援事業の一次予防事業(旧;介護予防事業一般高齢者施策)の一環として、介護予防の普及啓発のため本事業を実施。</p> <p>【事業の成果】 窓口相談や地域の啓発の場等に訪れた高齢者や家族への介護予防パンフレットの配布等により、介護予防に関する知識や重要性について普及啓発を行う。</p> <p>【今後の課題・方向性】 啓発活動の掘り起しの為地域の公民館や保健センター担当との連携を密にしていき効率的に活動することが必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	実施回数	135%	160%	79%		
	2	受講者数	192%	192%	78%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	啓発活動を行う時の媒体として分かりやすい
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	スライド・DVD等の媒体と併せて使用し、活用できている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	高齢者が集まる機会を活用した介護予防の普及啓発は、有効な手段である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	介護予防の対象者に対して広く行っており公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	地区公民館や保健センター、地区組織の代表等との連携を密にして、啓発活動の掘り起しを行い、効率的に活動を行うことが必要である。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001018	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	認知症サポーター養成事業		所属名	福祉保健部 高齢社会課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり	事業期間	平成17年度 ~ 全期	
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす	根拠法令、根拠計画等	介護保険法	
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%		ソフト(任意)
	子宮・乳がん検診		26%	50%	運営方法	直営
	介護予防対象者の把握率		78%	75%	会計区分	
予算	予算事業名	認知症サポーター養成事業費		予算事業コード	15-09-03-02-02-02	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	一般市民
意図 (どのような状態にするために)	認知症の方とその家族に対する理解者や協力者を育成し、認知症になっても安心して暮らすことができる地域づくりをする。
手段 (どうするのか)	キャラバン・メイト（認知症サポーターの講師役）が、地域や職場において認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する地域等の理解者を増やし声かけや見守りを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 認知症サポーター養成講座の開催 キャラバン・メイト活動支援	平成24年度 認知症サポーター養成講座の開催 キャラバン・メイト活動支援	平成25年度 認知症サポーター養成講座の開催 キャラバン・メイト活動支援	平成26年度 認知症サポーター養成講座の開催 キャラバン・メイト活動支援	平成27年度 認知症サポーター養成講座の開催 キャラバン・メイト活動支援	
	年度別実績	認知症サポーター養成講座 88回	認知症サポーター養成講座 51回	認知症サポーター養成講座 50回 キャラバンメイト研修等 18回			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	235	1,651	2,161	0	448	
	直接経費 A	235	166	221	0	448	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	264
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	94
		一般財源	235	166	221	0	90
人件費 B	0	1,485	1,940	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	実施回数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			回	目標	93	93	94	94	94	
			実績	88	51	50	0	0		
	(指標の説明) サポーター養成講座を実施した回数									
	2	サポーター数	人	目標	8000	9000	10000	11000	12000	
				実績	9557	10768	12185	0	0	
(指標の説明) 養成講座を受講しサポーターになった人(累計)										
3	キャラバン・メイト数	人	目標	180	200	220	220	220		
			実績	176	188	202	0	0		
(指標の説明) サポーター養成の講師役数(累計)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 鳥取中央地域包括支援センター 0857-20-3456
	【9次総の体系】 3102
	<b>【事業の概要】</b> 平成18年度より、地域支援事業の一環として実施。 認知症になっても安心して地域で暮らすことができるまちを目指し、地域の中で認知症高齢者やその家族を理解・協力する認知症サポーターの養成を目的とする。 講師役のキャラバン・メイトが、地域や職場に出向いて講座を開催する。 また、キャラバンメイトの自主的な活動の支援を行う。 ▽サポーター養成講座 ▽キャラバン・メイト研修会・連絡会(年2回) ▽キャラバン・メイト圏域別連絡会(年延べ16回)
	<b>【事業の成果】</b> 平成18年度からの受講者は延べ12,185人となった。 一般市民対象の講座では2～3回目の受講という方も多くなってきた。
	<b>【今後の課題・方向性】</b> 企業・介護職場・地域の組織代表の方への働きかけ、学校との連携等新たな対象者への働きかけが必要。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	実施回数	95%	55%	53%		
	2	サポーター数	119%	119%	122%		
	3	キャラバン・メイト数	98%	94%	92%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	認知症の正しい理解を普及することは必要
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	キャラバン・メイトの活用で、地域の人材育成につながっている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	外部委託では人材育成面が弱くなると思われる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	基本的に希望に合わせて対応している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	認知症有病者数は、今後ますます増大することが予想されるため、本事業を引き続き積極的に展開し、認知症高齢者とその家族に対する理解者や協力者を増やしていく必要がある。そのため、介護従事者等にキャラバンメイト養成研修の受講を勧め、積極的に活動できるよう支援していく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001034	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	老人の明るいまち推進事業		所属名	福祉保健部 高齢社会課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	
予算	予算事業名	老人の明るいまち推進事業費		予算事業コード	15-09-03-03-03-12	
		介護予防対象者の把握率		78%	75%	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	おおむね60歳以上の人
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを図る。
手段 (どうするのか)	「健康講座」・「各種趣味の教室」等の開催、「社会奉仕活動」の促進、「世代間交流事業」の支援

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	健康講座 趣味の教室 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 地域ふれあい事業 各種スポーツ大会 社会奉仕活動	健康講座 趣味の教室 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 地域ふれあい事業 各種スポーツ大会 社会奉仕活動	健康講座 趣味の教室 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 地域ふれあい事業 各種スポーツ大会 社会奉仕活動	健康講座 趣味の教室 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 地域ふれあい事業 各種スポーツ大会 社会奉仕活動	健康講座 趣味の教室 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 地域ふれあい事業 各種スポーツ大会 社会奉仕活動	
	年度別実績	健康講座 趣味の教室 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 地域ふれあい事業 各種スポーツ大会 社会奉仕活動	健康講座 趣味の教室 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 地域ふれあい事業 各種スポーツ大会 社会奉仕活動	健康講座 趣味の教室 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 地域ふれあい事業 各種スポーツ大会 社会奉仕活動			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,435	5,162	5,379	0	5,351	
	直接経費 A	4,685	4,419	4,650	0	5,351	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	3,169
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	1,123
一般財源	4,685	4,419	4,650	0	1,059		
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	事業参加者数	人	目標	5800	5900	6000	6000	6000
				実績	5449	5929	5739	0	0
	(指標の説明) 社会奉仕活動を除く各種開催した講座・教室等に参加した人数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 高齢者福祉係 0857-20-3453</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【事業の概要】 高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを図るため、多様な活動の機会を提供する。 これらの活動を通し新しいことにチャレンジし、様々な人と交流することにより介護予防を図り、老後を明るく豊かなものとする。</p> <p>【事業の成果】 趣味の教室、作品展、囲碁将棋大会、地域ふれあい事業、各種スポーツ大会、社会奉仕活動、健康講座等</p> <p>平成23年度決算額 4,686千円 参加者5,449人 平成24年度決算額 4,419千円 参加者5,929人 平成25年度決算額 4,651千円 参加者5,739人</p> <p>【今後の課題・方向性】 22年度までは、市社会福祉協議会と市老人クラブ連合会に委託していたが、23年度以降は事業を一本化して市社会福祉協議会が実施している。当面現体制で継続する。 参加人数の増加に向けて、より効果的な広報の検討を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業参加者数	94%	100%	96%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを図ることで、介護予防に繋がるため、ほぼ妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを図ることで、介護予防に繋がるため、ほぼ妥当である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	受託者の施設を利用するなど、効率的に実施されている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	おおむね60歳以上の方すべてを対象としており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	22年度までは、市社会福祉協議会と市老人クラブ連合会に委託していたが、23年度以降は事業を一本化して市社会福祉協議会が実施している。当面現体制で継続する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000978	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	自殺対策基本法
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率		78%	75%		
予算	予算事業名	地域自殺対策緊急強化事業費			予算事業コード	01-04-01-02-19-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民、健康や福祉に関する地域の団体（健康づくり地区推進員、民生児童委員、市民ボランティア（にこにこにっこりあいさつ隊）等）
意図 (どのような状態にするために)	「とっとり市民元気プラン2011」の目標のひとつである「温かい人間関係といのちを守る地域をつくりましょう」を目指す。自殺予防のための人材育成や啓発を行うことにより、うつ病等の心の病気についての理解を深め、支援の必要な人の悩みを傾聴し、自殺の徴候を早期に見出し、適切な支援、治療につながる事ができる市民を増やす。また、ストレスと上手につきあい、温かい人間関係づくりを行う市民を増やす。
手段 (どうするのか)	1 啓発 講演会、パネル展示、広報、市民ボランティアとの協働啓発等 2 研修会 3 心の問題や多重債務等の経済問題に関する相談窓口の紹介 4 健康相談

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	1講演会 2ゲートキーパー(自殺のサインに早期に気づきつなぎ、見守る人)研修 3パネル展示、広報啓発活動 4社会福祉法人 鳥取いのちの電話 電話相談支援事業	1講演会 2ゲートキーパー(自殺のサインに早期に気づきつなぎ、見守る人)研修 3パネル展示、広報 4こころの健康と暮らしの法律相談	1講演会 2ゲートキーパー(自殺のサインに早期に気づきつなぎ、見守る人)研修 3パネル展示、広報 4こころの健康と暮らしの法律相談	1講演会 2ゲートキーパー(自殺のサインに早期に気づきつなぎ、見守る人)研修 3パネル展示、広報 4こころの健康と暮らしの法律相談	1講演会 2ゲートキーパー(自殺のサインに早期に気づきつなぎ、見守る人)研修 3パネル展示、広報 4こころの健康と暮らしの法律相談	
	年度別実績	1講演会 200人参加 2地域研修会 40回延1,087人、相談13回延73人参加 3市職員ゲートキーパー研修 49人参加 4パネル展 4回、広報啓発活動 随時 5電話相談支援事業 6協働啓発	1講演会 350人参加 2地域研修会 13回延456人、相談5回延128人参加 3市職員ゲートキーパー研修 52人参加 4パネル展 3回、広報啓発活動 随時 5電話相談支援事業 6協働啓発	1地域健康教育 29回439人 2心の健康相談 5回 177人参加 3ゲートキーパー研修 4回 120人 4広報啓発活動 パネル展3回 5協働啓発			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,790	4,216	4,041	0	554	
	直接経費 A	1,041	503	398	0	554	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,041	503	398	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	554
人件費 B	3,749	3,713	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	講演会、研修会開催回数	回	目標	15	18	20	20	20	
		実績		42	15	33	0	0		
	(指標の説明) 自殺予防に関する講演、研修の開催回数									
	2	講演会、研修会への参加者人数	人	目標	1000	1000	1000	1000	1000	
実績		1336		981	616	0	0			
(指標の説明) 自殺予防に関する講演、研修への参加者人数										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】当初予算・P99(健035)</p> <p>【事業の概要】 国は都道府県に平成21年から「地域自殺対策緊急強化基金」を造成した。これを受けて本市でも自殺予防のための人材育成・普及啓発を行い、支援の必要な人を早期に発見して適切な相談・医療機関に繋ぐことができることを目的に、自殺を防止する各種の事業を行ってきた。電話等での相談も増え、必要に応じて他機関との連携を行い、悩む人の支援を行っているところである。</p> <p>【事業の成果】 平成23年度 決算額 1,041,000円 平成24年度 決算額 503,161円 平成25年度 決算額 398,348円</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域で自殺対策を進めるための普及啓発や、早期発見をして適切な医療機関に結びつけるための人材育成など、引き続き対策を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	講演会、研修会開催回数	280%	83%	165%		
	2	講演会、研修会への参加者人数	134%	134%	62%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	自殺を図った人の75%が精神障害があり、その約半数がうつ病に罹患していることから、病気やその対処方法について普及・啓発していくことは重要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	心の病気に関する普及啓発をすることで理解を図り、相談先を周知することで早い段階での相談につながり、自殺を防ぐことができたと考えられる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	心の健康について普及啓発を行うことで、地域の人が心の問題に気づき、早期に相談機関へつなぐことができる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	自殺の兆候に気づき、適切な相談機関につなぎ、見守ることができるようにするために、市民への自殺予防の理解が必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	地域で自殺対策を進めるための普及啓発、早期発見をして適切な医療機関に結びつけるための人材育成等、対策を継続する。	